



第2期北海道創生総合戦略検証ワーキンググループ
道内移住者の移住要因（参考資料）

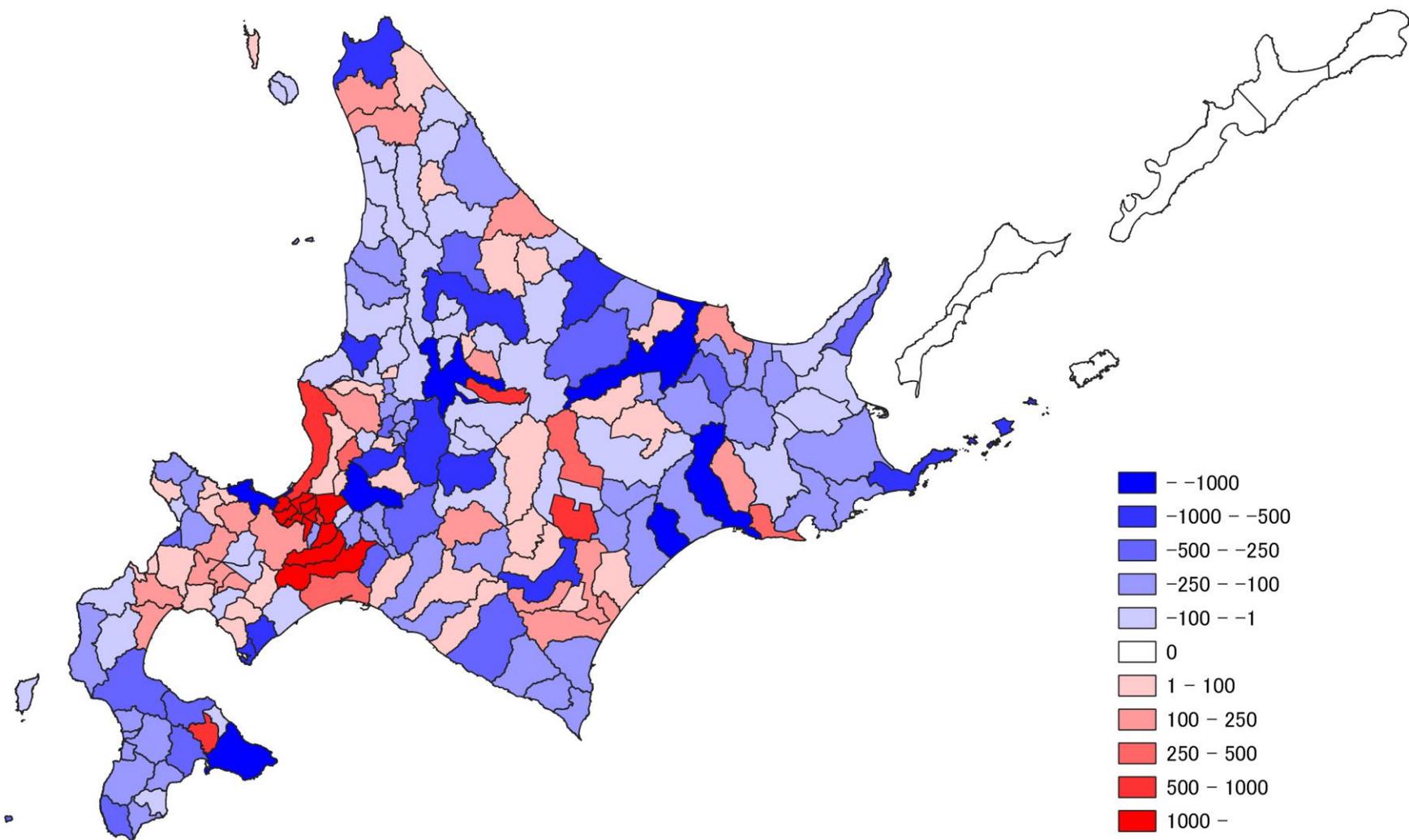
**（地独）北海道立総合研究機構建築研究本部
北方建築総合研究所 佐々木優二**



- 道内全市町村は、種類の違いはあるものの、移住促進策を実施している※1。
 - 例えば、住宅取得、就業・起業、子育て（医療費補助、ごみ袋等の消耗品配布など）などがある。
 - 多様な属性向けの施策が展開されているが、そもそも移住者は、どのような理由でその市町村に移住したのか？
- 
- ターゲットに合わせた移住施策の展開が可能になる。

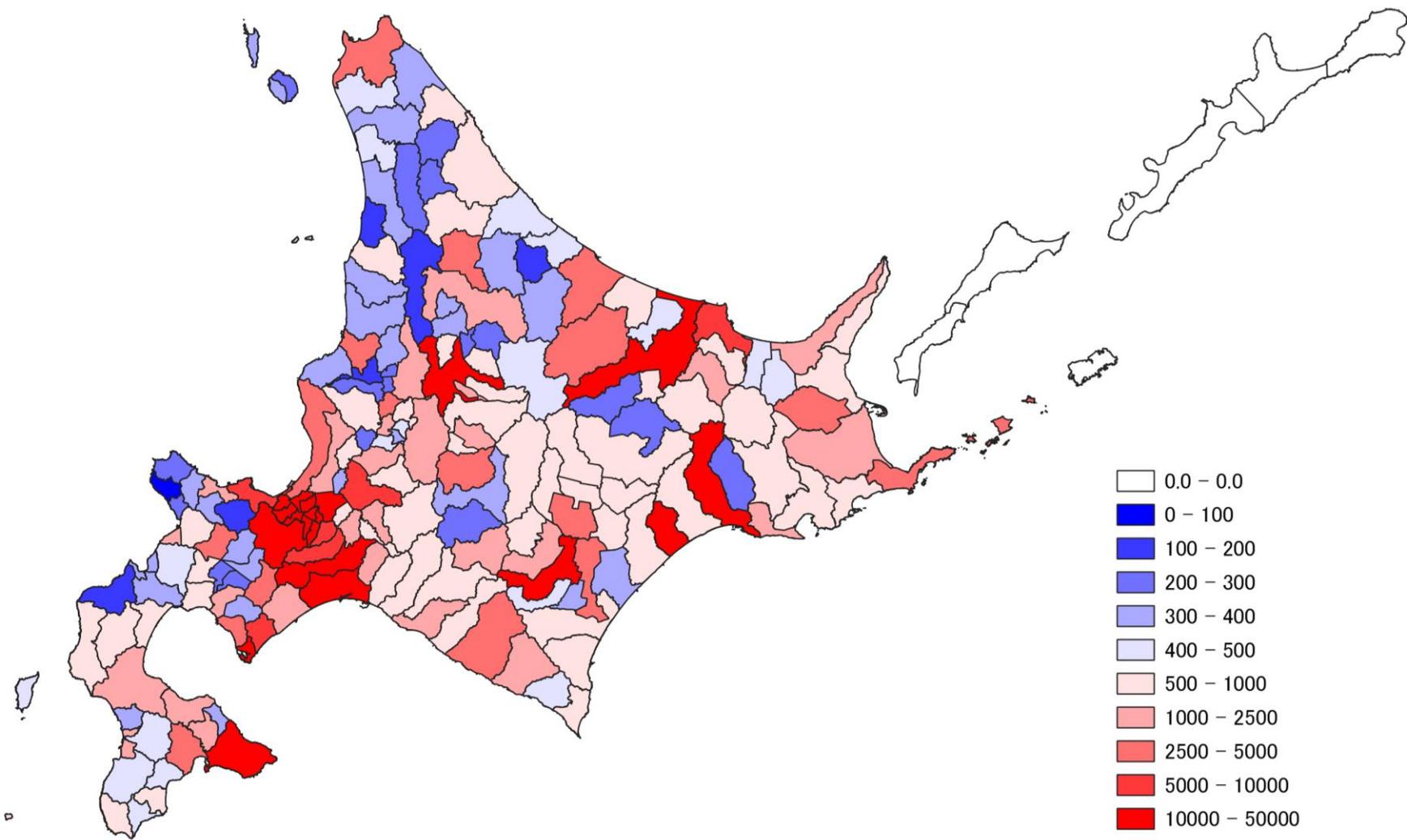
※1 一般社団法人北海道移住交流促進協議会、<https://www.kuraso-hokkaido.com/search/>

道内市町村の転入超過状況



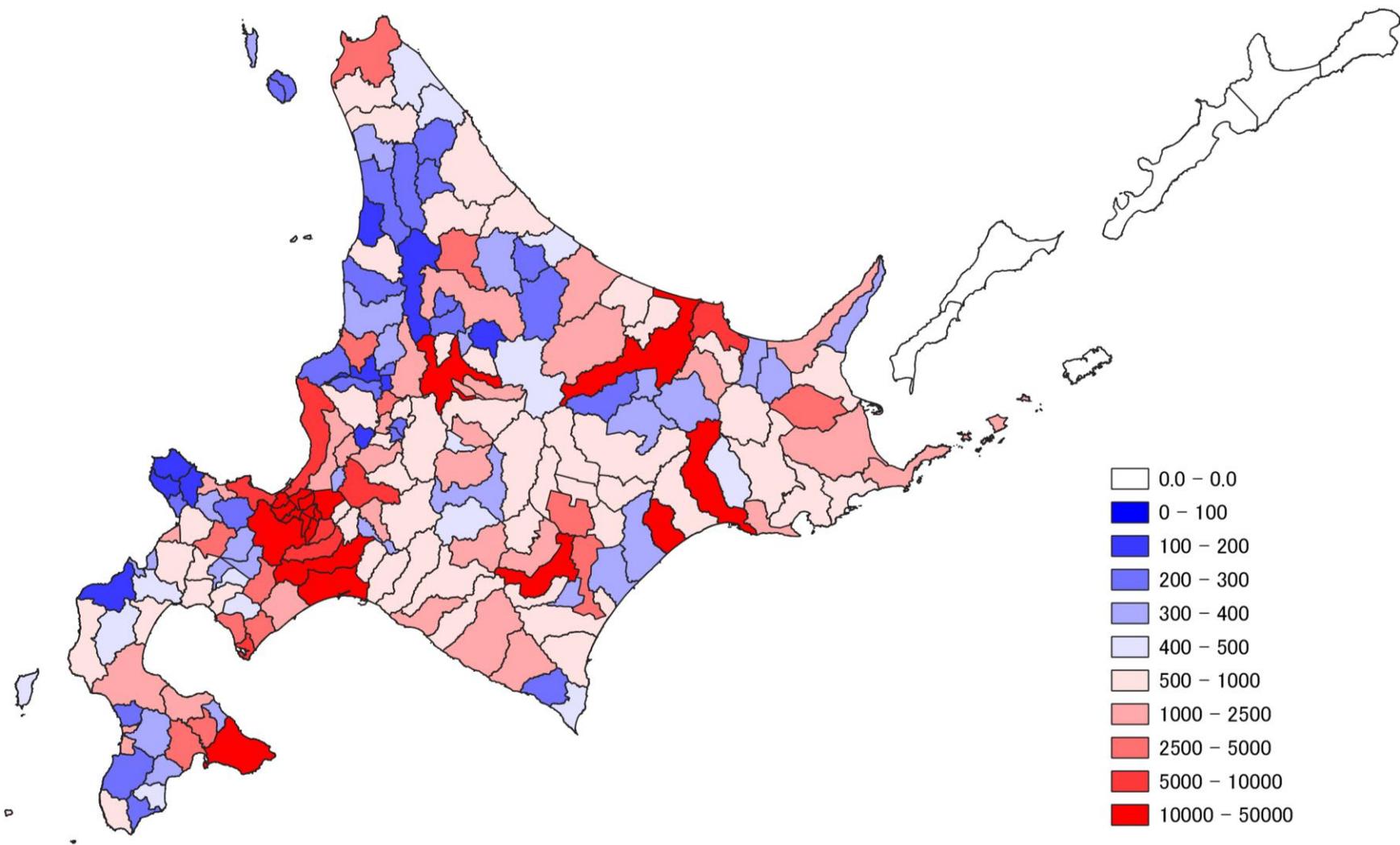
※国勢調査第1表から作成。

道内市町村の転出状況



※国勢調査第1表から作成。

道内市町村の転入状況



※国勢調査第1表から作成。



●気を付けたい大事なポイント

- 移住者は、どの市町村にも一定数いる。
- 移住者は、毎年いる。



繰り返しになりますが…

**移住者が、なぜ来てくれたのか？
移住の要因を探ることが必要**



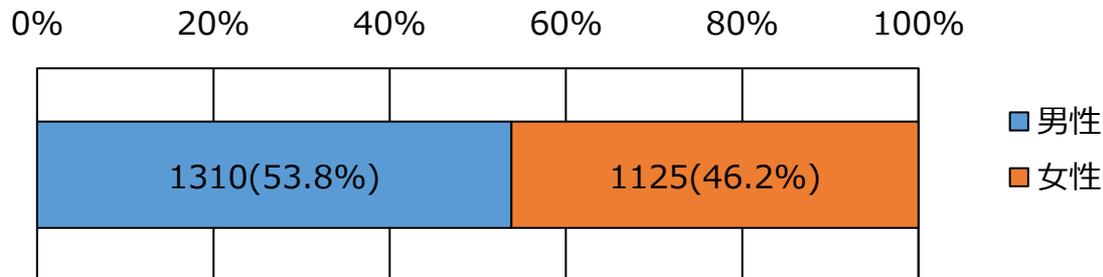
- 北海道内に住む移住者（過去5年以内に市町村を超えて居住地を変更した人）を対象にWebアンケートを実施（n=2,435）。
- 移住要因と考えられる33項目について、その市町村に移住する際に、どの程度影響したのかを調査。

アンケート回答者の属性



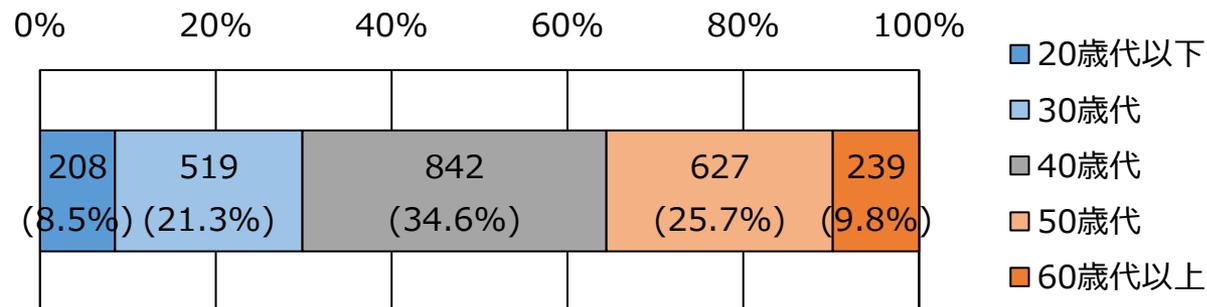
● 性別

- ほぼ均等になるように回収。



● 年齢

- 登録モニタの関係から20歳代以下と60歳代以上が少ない傾向。



● 前住地

- 道内市町村からの移住者が75%以上で多い傾向。



移住要因と考えられる33項目



- 既往研究から移住要因として33項目を選定。

現在お住まいの市町村で就職・転勤・入学すること・したこと

結婚すること・したこと

現在お住まいの市町村に思い出があること

就農できること

起業できること

持ち家を購入できる（できた）こと

賃貸住宅を確保できる（できた）こと

土地または空き家を所有していたこと

娯楽施設があること

現在お住まいの市町村に住むことで、理想のライフスタイルを実現できること

先輩移住者といった移住者仲間がいること

友人・知人からその市町村の良い評判を聞いたこと

飲食店や小売店などでその市町村の良い評判を聞いたこと

ホームページやTV・雑誌などで移住者へのインタビュー記事を見たこと

新型コロナウイルス感染症をきっかけに働き方を変えることができたこと

仕事と趣味の両立ができること

都市部に住むことが嫌になったこと

買い物や飲食店が利用しやすいこと

病院が行きやすいこと

（子どもが）学校に通いやすいこと

公共施設が利用しやすいこと

公共交通が利用しやすいこと

住宅の建設・取得に対する補助があったこと

土地の取得に対する補助があったこと

子どもの医療費が安かったこと（無料の場合を含む）

おむつやごみ袋などの物品支給があったこと

移住に必要な情報が入手できたこと

自然が豊かであること

景色がいいこと

雰囲気がのんびりしていること

その地域でお祭りが行なわれていること

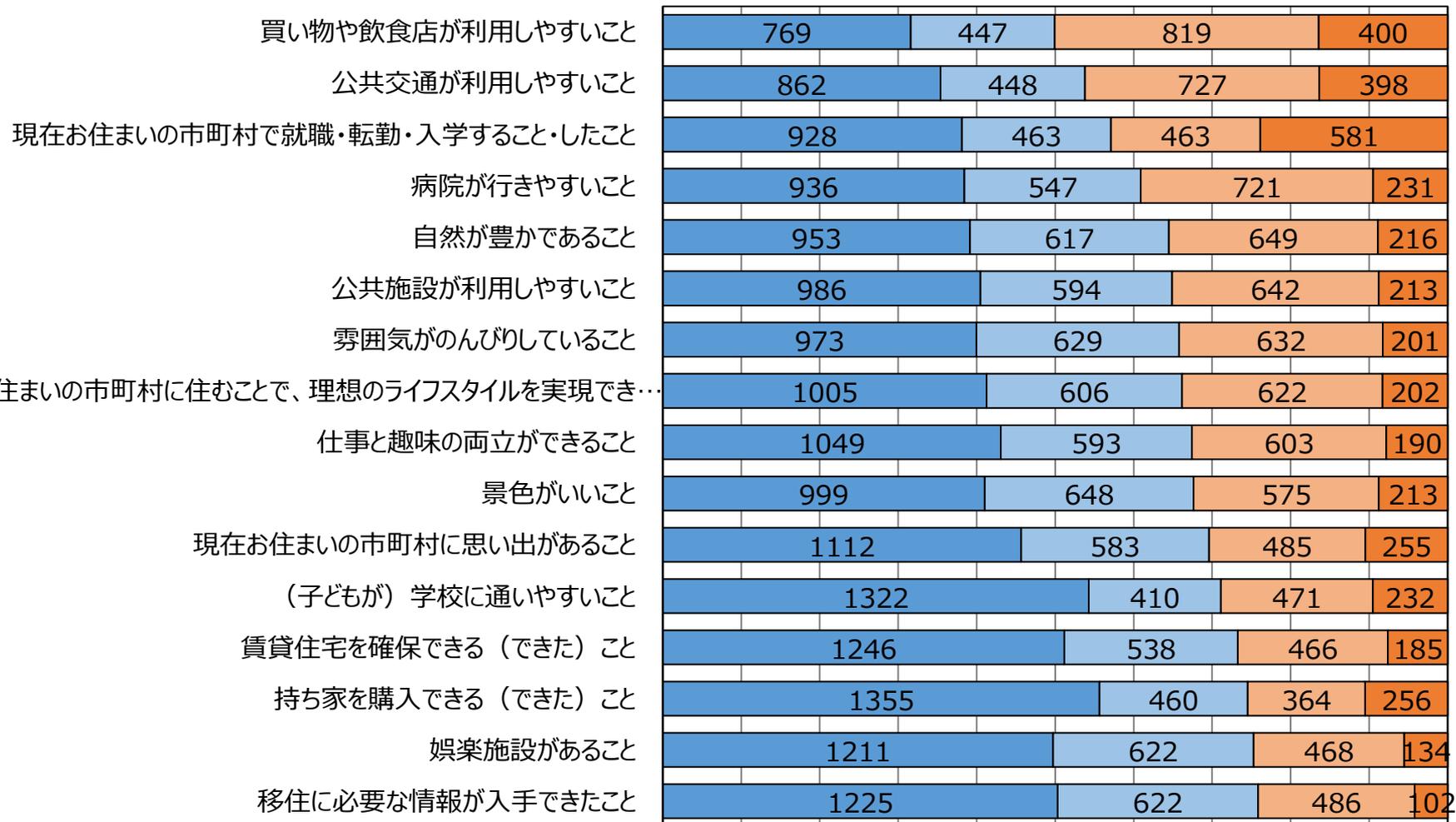
文化芸術の振興に力を入れていること

地域住民が移住者に好意的であること

影響した移住要因 1～16番まで



0% 20% 40% 60% 80% 100%

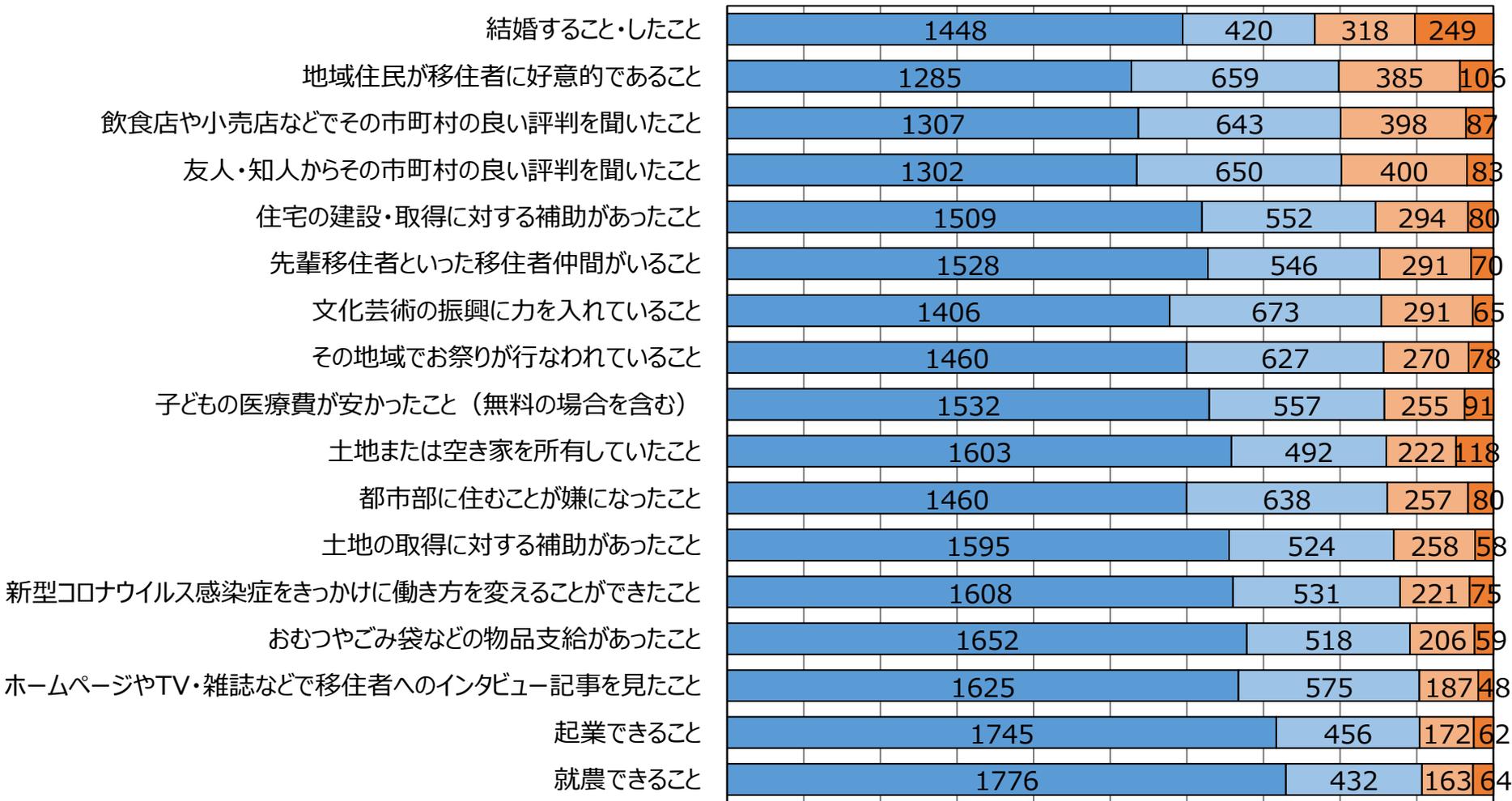


■まったく影響しなかった □あまり影響しなかった ■やや影響した ■とても影響した

影響した移住要因 17～33番



0% 20% 40% 60% 80% 100%



■まったく影響しなかった
 ■あまり影響しなかった
 ■やや影響した
 ■とても影響した



- 一般に移住要因と考えられる生活利便性は、他の要因よりも影響した人が多い傾向にあるが、それでも半数程度。残りの半数は、移住に際して生活利便性の影響を受けていない。
- 理想のライフスタイルの実現や仕事と趣味の両立など、生活を変える移住が比較的上位にある。

移住者の移住要因は多様。

移住者の属性を分けて要因を分析



- 移住者は多様な移住要因が影響して、その市町村に移住していることがわかる。そのため、属性を分けて分析を行なう。

カテゴリ	項目
性別	女性、男性
年齢	20歳代以下、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代以上
前住地	道内他市町村、道外市町村

性別・年齢・前住地と移住要因



1～16番目まで	性別	年齢	前住地
買い物や飲食店が利用しやすいこと	女性		
公共交通が利用しやすいこと	女性		
現在お住まいの市町村で就職・転勤・入学すること・したこと		20代,40代	
病院が行きやすいこと	女性	30代	道内
自然が豊かであること			道外
公共施設が利用しやすいこと	女性	30代	
雰囲気がのんびりしていること	女性		道外
現在お住まいの市町村に住むことで、理想のライフスタイルを実現できること	女性		道外
仕事と趣味の両立ができること		30代	
景色がいいこと	女性		道外
現在お住まいの市町村に思い出があること			道外
(子どもが) 学校に通いやすいこと		40代	道内
賃貸住宅を確保できる(できた)こと	女性	20代,30代	道外
持ち家を購入できる(できた)こと	男性		道内
娯楽施設があること	女性	20代,30代	
移住に必要な情報が入手できたこと			

※カイ2乗検定・残差分析で統計的に「影響した」属性を示している。次ページ同。

性別・年齢・前住地と移住要因



17～33番目まで

	性別	年齢	前住地
結婚すること・したこと	女性	30代	道内
地域住民が移住者に好意的であること		20代,30代	
飲食店や小売店などでその市町村の良い評判を聞いたこと			
友人・知人からその市町村の良い評判を聞いたこと		20代,30代	
住宅の建設・取得に対する補助があったこと		20代,30代	
先輩移住者といった移住者仲間がいること		20代	道内
文化芸術の振興に力を入れていること		20代	
その地域でお祭りが行なわれていること		20代,30代	道内
子どもの医療費が安かったこと（無料の場合を含む）		20代,30代	道内
土地または空き家を所有していたこと			
都市部に住むことが嫌になったこと		20代,30代	
土地の取得に対する補助があったこと		20代,30代	道内
新型コロナウイルス感染症をきっかけに働き方を変えることができたこと		20代	
おむつやごみ袋などの物品支給があったこと		20代,30代	道内
ホームページやTV・雑誌などで移住者へのインタビュー記事を見たこと		20代	
起業できること	男性	20代,30代	
就農できること		20代	



● 性別

- 1～16番は、比較的女性が影響している割合が高い。
- 男性が影響している割合が高い項目は、住まいと起業。

● 年齢

- 20歳代、30歳代は多様な項目が影響。特に17～33番目の項目で割合が高い傾向。
- 50歳代以上では有意に影響している項目はない。

● 前住地

- 道外からの移住者は、自然や景色、雰囲気のがのんびりしていること、ライフスタイルなど、質的な項目の割合が高い。賃貸住宅の確保も割合が高い傾向。

移住者の属性を分けたが…



- これまで各属性単独で分析。
- 属性を細かく分けて同様の分析を行なうことで、より詳細な要因の解明につながる。
- 以下のカテゴリで同様の分析を行なう。

カテゴリ	項目
性別×年齢×前住地	性別：2分類 年齢：5分類 前住地：2分類 計：20分類

詳細に分析（1～16番目まで）



1～16番目まで

性別×年齢×前住地

買い物や飲食店が利用しやすいこと	女性・30代・(道内・道外)、女性・60代・道外
公共交通が利用しやすいこと	女性・30代・(道内,道外)、女性・50代・道内
現在お住まいの市町村で就職・転勤・入学すること・したこと	女性・20代・道外、女性・40代・道内
病院が行きやすいこと	女性・30代・道内
自然が豊かであること	
公共施設が利用しやすいこと	
雰囲気のがんびりしていること	
現在お住まいの市町村に住むことで、理想のライフスタイルを実現できること	女性・30代・道外
仕事と趣味の両立ができること	女性・20代・道内、女性・30代・道外
景色がいいこと	女性・(40代,60代)・道外
現在お住まいの市町村に思い出があること	
（子どもが）学校に通いやすいこと	女性・40代・道内
賃貸住宅を確保できる（できた）こと	女性・20代・道内、女性・(30代,40代)・道外、男性・20代・道外
持ち家を購入できる（できた）こと	男性・(30代,50代,60代)・道内
娯楽施設があること	女性・20代・(道内・道外)、女性・30代・道内、男性・(20代,30代)・道内
移住に必要な情報が入手できたこと	男性・20代・道内

※カイ2乗検定・残差分析で統計的に「影響した」属性を示している。次ページ同。

詳細に分析（17～33番目まで）



17～33番目まで

性別×年齢×前住地

結婚すること・したこと	女性・(20代,30代,40代)・道内、男性・30代・道内
地域住民が移住者に好意的であること	女性・(20代,30代)・道内
飲食店や小売店などでその市町村の良い評判を聞いたこと	
友人・知人からその市町村の良い評判を聞いたこと	女性・20代・道内、女性・30代・道外 男性・(20代,30代)・道内
住宅の建設・取得に対する補助があったこと	(女性・男性)・20代・道内、男性・30代・(道内・道外)
先輩移住者といった移住者仲間がいること	男性・(20代,30代,40代)・道内
文化芸術の振興に力を入れていること	
その地域でお祭りが行なわれていること	男性・(20代,30代)・道内
子どもの医療費が安かったこと(無料の場合を含む)	(女性・男性)・(20代,30代)・道内
土地または空き家を所有していたこと	
都市部に住むことが嫌になったこと	女性・20代・道内、男性・30代・(道内,道外)
土地の取得に対する補助があったこと	女性・20代・道内、男性・(20代,30代,40代)・道内
新型コロナウイルス感染症をきっかけに働き方を変えることができたこと	女性・20代・道内、女性・40代・道外、 男性・30代・道内
おむつやごみ袋などの物品支給があったこと	(女性・男性)・(20代,30代)・道内
ホームページやTV・雑誌などで移住者へのインタビュー記事を見たこと	男性・(20代,30代)・道内
起業できること	男性・(20代,30代)・道内
就農できること	女性・20代・道内、男性・(20代,30代)・道内

属性を細かくして分析すると…



- 若年女性は、前住地に限らず生活利便性が影響している傾向。
- 若年層や30～40代女性は賃貸住宅の確保が影響。住宅の一次取得者層である30代や比較的高齢な人は住宅確保が影響。同様に若年層は住宅建設補助も影響。
- 若年女性は、理想のライフスタイルの実現や仕事と趣味の両立が影響。
- 若年層は、友人・知人や先輩移住者などの口コミが影響。

**自分の市町村がどの属性を呼びたいのか？
ターゲットによって移住施策は異なる。**



- 細かくクロス集計しているため、サンプル数が小さくなる属性もある。それが影響して、統計的に有意差が出ている項目がある可能性が考えられる。
- ここまで細かくしなくとも、性別と年齢のみ、などの分析も実施済み。



- 「友人・知人からその市町村の良い評判を聞いたこと」、「先輩移住者といった移住者仲間がいること」は若年世帯（≡子育て世帯、住宅の一次取得者世帯）が影響を受けている。
- ある種、口コミが移住要因になっている状況が見て取れる。



**移住者が新たな移住者を呼ぶ誘因力
「呼び込み力」
について、その影響を分析**

「呼び込み力」とは？



「呼び込み力」の波及



「呼び込み力」の定量評価①



0% 20% 40% 60% 80% 100%



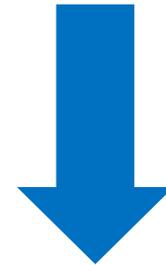
- 移住希望者から相談を受けたことがある
- 移住希望者から相談を受けたことがない

0% 20% 40% 60% 80% 100%



- 実際に移住した人がある
- 実際に移住した人がいない

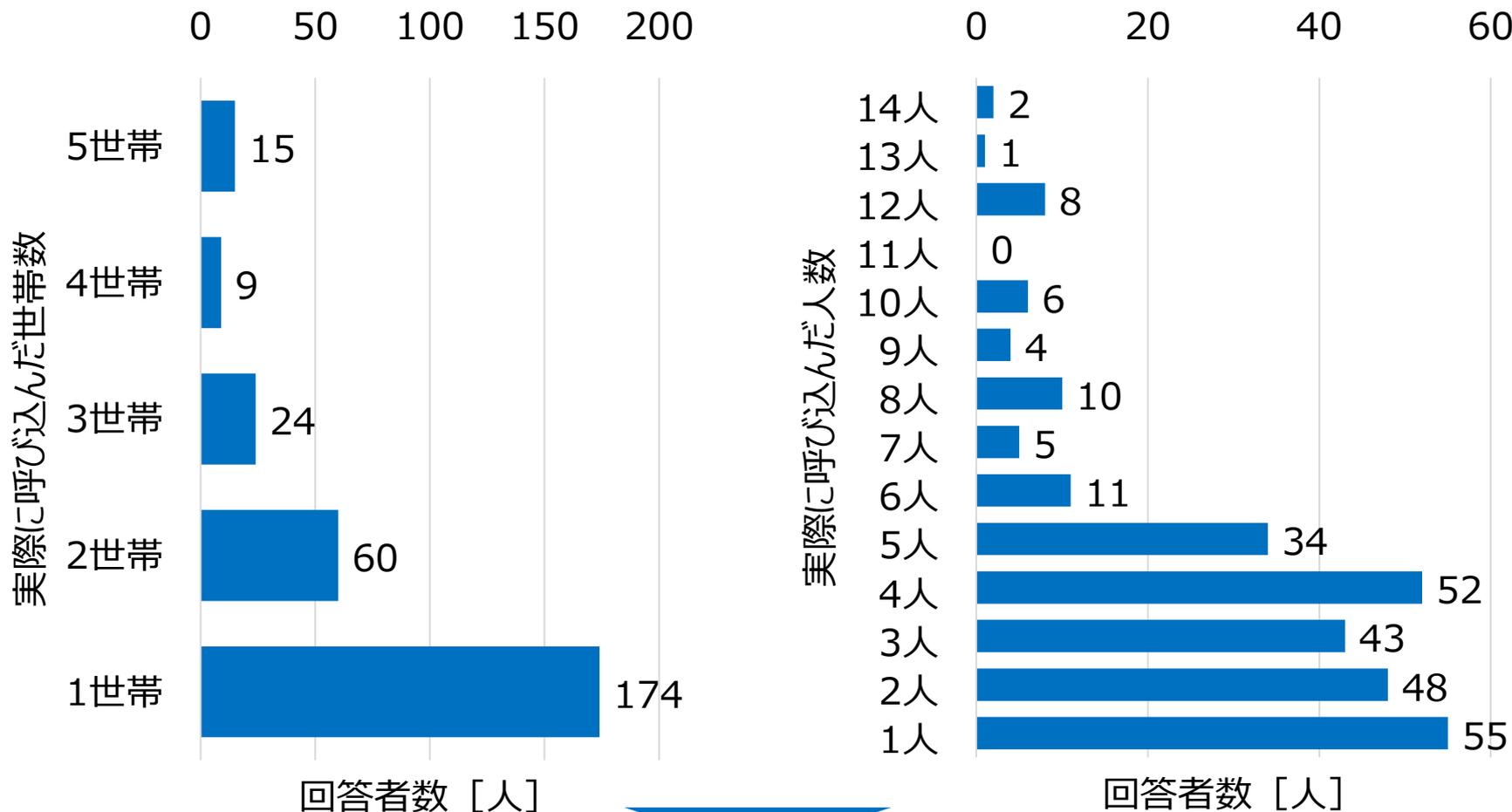
移住希望者から
相談を受ける移
住者は**22.3%**



そのうち、実際に
移住者を呼び込
んだことがある人
は**54.5%**

「呼び込み力」を持つ移住者は、全体の12.2%

「呼び込み力」の定量評価②



「呼び込み力」を持つ人1人当たり、
平均1.7世帯・3.8人、中央値1世帯・3人

「呼び込み力」を持つ人の特徴①



		呼び込み力		p値
		持つ人	持たない人	
移住前に、移住先に 住んでいる住民への相談有無	相談有	194(+)	351(-)	0.000
	相談無	102(-)	1788(+)	
移住前に、移住先にある 店舗への相談有無	相談有	165(+)	147(-)	0.000
	相談無	131(-)	1992(+)	

カイ2乗検定。凡例 (+) : 割合が有意に高い、(-) : 割合が有意に低い

- 「呼び込み力」を持つ人は、移住前に移住先の住民や店舗に相談をしている。
- 「呼び込み力」を持つ移住者は元々、「呼び込み力」が影響した移住者である⇨「呼び込み力」は伝搬する可能性。

「呼び込み力」を持つ人の特徴②



	項目	呼び込み力を持つ人の特徴
属性	性別	男性
	年齢	20歳代以下、30歳代
移住要因	買い物や飲食店が利用しやすいこと	影響した人
	現在お住まいの市町村で就職・転勤・入学すること・したこと	影響しなかった人
	現在お住まいの市町村に住むことで、理想のライフスタイルを実現できること	影響した人
	(子どもが) 学校に通いやすいこと	影響した人
	土地または空き家を所有していたこと	影響した人
事前相談	土地の取得に対する補助があったこと	影響した人
	移住前に、移住先に住んでいる住民への相談有無	相談した人
	移住前に、移住先にある店舗への相談有無	相談した人

ロジスティック回帰分析。判別的中率83.9%

- 「呼び込み力」を持つ人は、①男性・若年層、②土地・空き家の所有、理想のライフスタイルの実現などが影響した人、③就職・転勤・入学が影響しなかった人、④事前相談を行なった人が多い傾向。

「呼び込み力」に着目した提案



- 小規模な市町村では、大きな影響を持つ。
- 移住希望者と移住者を接触させることは大きな価値。



- 転入時にアンケートを実施し、「呼び込み力」を持つ移住者にアタリを付ける。
- 「呼び込み力」を持つ移住者に協力いただき、移住希望者に暮らしぶりを説明してもらう。
- 時間はかかるが、新たな移住者を呼び込む可能性。



新しい移住施策の考え方では？



● 自分の市町村に来てほしい移住者のターゲットを決める

- 移住者の属性によって、移住要因は大きく異なる。
- 自分の市町村にはどのような属性に移住してほしいのか？
ターゲットを決めることで、移住施策の展開方法が異なる。

● 転入・転出時に窓口でアンケートを実施する

- 今回の分析は、ある意味道内平均の結果。市町村によっては異なる傾向を示す可能性も考えられる。
- 詳細に移住施策を展開するためには、市町村毎にカスタマイズする必要がある。